

一般社団法人 大学コンソーシアムひょうご神戸
2022 年度 第 1 回 学生交流委員会 次第

日 時：2022 年 5 月 11 日（水）15:00～16:30

場 所：オンライン会議（ZOOM）

1 開会

1) 委員長・副委員長挨拶

2) 委員紹介

(資料 1)

2 報告事項

1) 大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画Ⅱ期（2022～2026）について

(資料 2)

2) 事業委員会申し合わせについて

(資料 3)

3) その他

3 協議事項

1) 2022 年度事業計画（詳細）・予算について

(資料 4)

2) その他

4 懇談事項

5 連絡事項

定時総会 日時：6 月 10 日（金）10：00～11：15

6 閉会

以上

<資料一覧>

資料 1：2022 年度学生交流委員会名簿

資料 2：大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画Ⅱ期（2022～2026）

資料 3：事業委員会申し合わせ

資料 4-1：学生交流委員会 事業計画（詳細）・予算（案）

資料 4-2：WILL BE プロジェクト①

資料 4-3：WILL BE プロジェクト②

資料 4-4：ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト企画提案について

【2022 学生交流委員会名簿】

委員校25校 委員長校：神戸常盤大学 副委員長校：神戸親和女子大学

連番	校数	学校名	所屬	役職	氏名
1	1	芦屋大学	地域連携推進室	室長	中村 光男
2	2	関西国際大学	学生センター	センター長 教授	梶 正義
3			学生部	部長	片岡 左子
4	3	関西学院大学/聖和短期大学	研究推進社会連携機構	社会連携コーディネーター 経済学部教授	秋吉 史夫
5	4		研究推進社会連携機構事務部	課長	永野 誠
6	5	甲南大学	地域連携センター	所長	石川 路子
7			社会連携機構事務室		中村 明香
8	6	甲南女子大学	対外協力センター	対外協力センター長	S. ブラウン
9			対外協力センター 社会貢献課	社会貢献課長補佐	山田 郁文
10	7	神戸大学	研究推進部連携推進課	課長	水島 俊英
11			研究推進部連携推進課	事務員	阿部 沙鳥
12	8	神戸海星女子学院大学	心理こども学科	教授	南 夏世
13			学生課	課長	藏澤 綾子
14	9	神戸学院大学	学生支援センター	所長	宇野 文夫
15			学生支援センター 学生支援グループ	グループ長	岸本 和美
16	10	神戸市看護大学	神戸市看護大学看護学部	講師	宇多 みどり
17	11	神戸松蔭女子学院大学	学生部	部長	中村 博文
18			学生部	次長	左官 雅範
19	12	神戸女学院大学	学生部	学生副部長	松浦 修
20			学生生活支援センター	課長	高地 雅之
21	13	神戸女子大学	健康福祉学部社会福祉学科	教授	佐々木 勝一
22			地域連携推進事務室	次長	浦辺 幸治
23	14	神戸女子短期大学	食物栄養学科	准教授	平田 庸子
24			事務局 学生事務部	次長	浦辺 幸治
25	15	神戸親和女子大学	地域連携センター	副センター長	猪田 裕子
26			地域連携センター事務室	次長兼課長	坂本 供美
27	16	神戸常盤大学	地域交流センター	センター長	中村 忠司
28			法人本部 社会連携課	課長	工藤 達也
29	17	神戸常盤大学短期大学部	神戸常盤ボランティアセンター	センター長	戸谷 富江
			法人本部 社会連携課	課長	工藤 達也
30	18	頌栄短期大学	保育科	講師	渡邊 恵梨佳
31			事務部	事務長	東 弘彦
32	19	園田学園女子大学	社会連携推進センター	所長	榎本 匡晃
33	20	園田学園女子大学短期大学部		一般職	小林 理恵子
34	21	姫路大学	教育学部	教授	日潟 淳子
35			教育学部教務・学生・厚生課	課長代理	中村 勇樹
36	22	姫路獨協大学	医療保健学部	学生部長（教授）	小寺 宏尚
37			学生部学生課	課長	大島 康司
38	23/24	兵庫大学/兵庫大学短期大学部	エクステンション・カレッジ事務室	課長	吉田 浩司
39	25	兵庫県立大学	兵庫県立大学	副学長	坂下 玲子
40			教育企画部教育企画課	次長兼課長	三嶋 良宣

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画Ⅱ期
(2022年度～2026年度)

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸の中長期計画Ⅰ期(2017年4月1日～2022年3月31日)における取組内容とその成果を継承して、中長期計画Ⅱ期(2022年4月1日～2027年3月31日)を策定する。さらに、今後も想定される災害やコロナ禍における社会環境の変化への迅速な対応、人口減少社会・少子超高齢化社会、18歳人口の減少における大学をめぐる状況にも留意し、大学単独で取り組むには困難な課題について、大学プラットフォームの多元的な資源を活用して取り組む。大学間連携・産官学連携での人的交流ならびに人材育成、加盟校の多元的な教育活動に寄与する計画とする。

[ビジョン・目標]

大学間連携・産官学連携で「人がつながり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」

兵庫県内の大学が連携して、地方自治体、産業界とともに、「若者が育ち、活躍する県」であることのメッセージを発するとともに、人生100年時代を迎え、多様な学びを提供する大学コンソーシアムひょうご神戸の取組を通じて、兵庫県と加盟校の魅力を県内外に発信する。兵庫県内の若者人口の増加、大学教育・地域創生への貢献が明確に可視化される活動を展開する。

大学間連携組織の特徴を生かした産官学連携のあり方として、「人」を繋ぐ、「組織」を繋ぐ、「情報」を集約できる場をめざす。

大学コンソーシアムひょうご神戸が、大学間連携組織の特徴を生かして、産官学連携による人材育成・教育支援に取り組み、地域に貢献できるような大学プラットフォームを構築する。そのために以下の4つの柱での取組事業を実施する。

1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携
2. “ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援
3. 県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供
4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築

[体制] プラットフォーム：ひょうご産官学連携協議会



加盟校数、賛助会員数は、2021年12月現在

[具体的な取り組み内容]

上記の課題を踏まえ、中長期的な目標を設定し、①情報の共有と発信②人的交流の促進③ステークホルダー（地方自治体・企業・地域・高等学校等）との有機的連携の3つを重点項目として取り組む。

1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携

①地域の活性化のための県内企業への就職率の向上

（加盟校学生と県内企業とのマッチングに向けた連携）

【取組1】大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクトの実施

（目標）各年参加者数 500 名以上

（内容）兵庫県の年齢別転出超過で最も多いのは、大学卒業・就職を契機とした若者であり、県内大学卒業者の『県内企業への就職率』は、3 割弱に過ぎず、7 割以上が県外に本社のある企業に就職している。その要因の一つとして、大学生の県内企業への理解不足があると考えられる。県内大学卒業者の地元への就職について、大学側と企業側が相互理解を深める機会を提供する。地元企業と加盟校が連携することで、若者のキャリア形成の支援を充実させ、地域の活性化を実現する。

（担当）キャリア部門

【取組2】県内企業・団体等の魅力を情報発信

（目標）情報公開企業・団体数 120 社以上

（内容）地域の産業界の協力を得て県内企業や団体等の情報を収集し、大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに公表するとともに、兵庫県内の職業紹介サイト等との連携も図る。加えて、県内企業・団体等が求める人材について、情報交換会等を通じ、企業と大学間で人材ニーズと人材育成に関する情報の共有と相互理解を深める。

（担当）キャリア部門

②県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続

【取組1】大学と高等学校の意見交換会の実施

（目標）各年参加校数 20 校以上

（内容）教育委員会等と連携して兵庫県下の高等学校と大学との意見交換の場である「ひょうご高等学校大学コンソーシアム」等において、兵庫県での高大連携・接続の具体的な課題についての定期的な意見交換を行い、兵庫県下の高大連携を深める。

（担当）高大連携部門

【取組2】加盟校の魅力を情報発信

（目標）各年情報提供先数 高等学校等 200 か所以上

（内容）加盟校に関する情報発信を強化し、加盟校への進学率の向上を図る。生徒が高校生から大学生、社会人になるまでの学びのルートマップを描けるような情報を発信する。

（担当）高大連携部門

③大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進

【取組１】テーマ型の学生交流プロジェクトの実施

（目標）各年参加者数 50 名以上

（内容）他大学や地域・企業との連携・協働によるプログラムへの参加は、学生に大きな教育効果があるとの考えから、大学の枠を超えたテーマを設定した学生交流や活動を促進するプロジェクトを実施する。主体性をもって活動に取り組む学生を支援する仕組みを作ることによって学生の成長の場とする。

（担当）学生交流部門

【取組２】加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施

（目標）情報公開数 200 取組以上

（内容）加盟校の学生が地域の活性化に関わる取組事例を大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに公開する。各年、継続的に事例紹介を重ねることにより、本計画期間内で 200 取組以上を紹介する。地域で若者が活躍する姿を周知することにより、地域の活性化のための貢献活動に取り組む。

（担当）学生交流部門

2. “ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援

④外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進

【取組１】留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムの実施

（目標）各年参加者数 500 名以上

（内容）“ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル人材育成を目指した事業を展開する。プラットフォームを活用した留学生就職促進事業として、大学、行政、企業が連携し、新たなネットワークを構築することでの留学生の受入環境づくりを促進し、卒業後の県内企業への就職の動機付けを図る。

（担当）キャリア部門

⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進

【取組１】兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施

（目標）各年参加者数 500 名以上

（内容）兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業（日本学生支援機構委託事業）にお

いて、大学間連携による国際交流の拠点を、兵庫国際交流会館を起点に大学キャンパス外の地域社会に形成することを推進する。留学生と日本人学生、地域の人々が学びあう多文化共生社会に向けた場を創造する。

(担当) 国際交流部門

【取組2】 加盟校の国際交流プログラムとの連携促進

(目標) プログラム数 10 件以上

(内容) 大学コンソーシアムひょうご神戸のネットワークを生かして、加盟校主催の国際交流イベントの情報を収集し、加盟校間の情報共有を行う。本計画期間内において、段階的に加盟校が主催する国際交流プログラムと連携することにより、大学の枠を超えた加盟校間の留学生・日本人学生等の交流を促進させる。

(担当) 国際交流部門

3. 県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供

⑥大学教職員の研修機会の提供と交流の促進

【取組1】 加盟校間での FD・SD セミナーの公開

(目標) 各年セミナー数 5 件以上

(内容) 加盟校が自学で開講している多様な研修プログラムを加盟校に開放することにより、加盟校教職員に多様な研修・交流の機会を提供する。教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。

(担当) FD・SD 部門

【取組2】 FD・SD 情報交換会、セミナー等の開催

(目標) 各年参加者数 50 名以上

(内容) 加盟校に有益な公開セミナーを実施することで、教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。

(担当) FD・SD 部門

⑦大学間連携による多様な教育ニーズへの対応

【取組1】 単位互換事業の実施

(目標) 各年開放科目数 10 科目以上

(内容) 加盟校において幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や加盟校の特徴を生かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施する。

(担当) 教育連携・教務部門

【取組2】 多様な学修機会の提供

(目標) 各年プログラム数 5 件以上

（内容）加盟校に通う学生等に、多様な学修機会を提供するため、本計画期間内において、段階的に加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供する（ICT を活用したコンテンツ、専門領域や分野横断型のプログラム等）。

（担当）教育連携・教務部門

⑨県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進

【取組１】リカレント教育の普及促進に向けた取組

（目標）各年参加者数 50 名以上

（内容）加盟校によるリカレント教育の推進・理解促進に向けたセミナー・情報交換会等を開催する。産官学で連携したリカレント教育推進に関するネットワークを構築する。

（担当）リカレント教育部門・企画運営委員会

【取組２】加盟校のリカレント教育に関する情報発信

（目標）各年 10 校以上

（内容）大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページで加盟校が開講するリカレント教育に関する取組情報を発信する。

（担当）リカレント教育部門・企画運営委員会

4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築

⑨大学資源を活用する地域プラットフォームの形成

【取組１】大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築

（目標）大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充

（内容）兵庫県下で大学間連携のプラットフォームとして、加盟校の大学資源を生かす運営体制を本計画期間内において、段階的に構築する。また、加盟校がすでに有している大学間連携・地域・地方自治体との連携体制の理解促進も図る。

（担当）企画運営委員会

【取組２】緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築

（目標）緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築

（内容）感染症（新型コロナウイルス感染症等）や災害対応等、災害・緊急事態対応等の不測の事態に備えて、定期的に加盟校が蓄積する経験や知見の情報収集を行い、共有する。本計画期間内において、段階的に情報共有を重ねることにより、有事の際に速やかに情報共有・情報提供ができる体制の構築を目指す。

（担当）企画運営委員会

⑩県内大学が活性化する事業運営体制の整備

【取組１】加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進

（目標）加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築

（内容）加盟校教職員が大学間連携活動に積極的に参画できる事業運営体制を本計画期間内において、段階的に検討・構築する。同じ課題を有する加盟校による小グループで課題の共有、ICTの活用、プロジェクト型での事業推進等のニーズに合わせて、事業運営体制の整備に取り組む。

（担当）企画運営委員会

上記の中長期計画に基づき、各年度毎の事業計画を別途作成し、各プログラムの具体的な活動指標を個別に定めて事業を推進する。なお、中長期計画を実施する計画ならびに担当については、年度毎の見直しにより変更することがある。

以 上

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
事業委員会運営に関する申し合わせ

企画運営委員会

1. 目的

この申し合わせは、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸(以下「コンソ」という。)定款第38条に基づき設置した事業委員会の運営について、必要な事項を定めるものとする。

2. 事業委員会の組織

- ・事業委員会は、正会員の教職員からなる委員により、構成する。
- ・事業委員会の委員は、正会員あたり原則2名(教員1名、職員1名)とし、毎年度、第1回委員会開催までにコンソ事務局に登録する。

3. 委員長校、副委員長校

- ・事業委員会は、委員長校、副委員長校を置く。但し、副委員長校は複数校置くことができる。
- ・委員長校は、副委員長校と連携し、事業計画の策定、事業委員会の招集、審議など、事業委員会の円滑な運営に努める。
- ・副委員長校は、委員長校を補佐し、委員長校が不在の場合は、職務を代行し、事業委員会の円滑な運営に努める。
- ・委員長校、副委員長校の任期は、2年とし、再任は妨げない。
- ・任期満了に伴う改選は、コンソ事務局が、委員長校、副委員長校の意見を聴取の上、企画運営委員会で協議し、理事会で決定する。
- ・委員長校は、原則として理事校が担当する。但し、理事会が認める場合、理事校以外の正会員が担当することができる。

4. 事業委員会の任務

- ・事業委員会は、理事会において決定された事業方針に則り、事業の具体的な計画・実施・報告(自己評価)を行う。
- ・事業委員会は、必要に応じ情報を共有する。

5. 事業委員会の招集・議事

- ・事業委員会は、委員長が必要と認めたとき、又はそれぞれの事業委員会を構成する正会員の半数以上からの請求があったときに委員長が招集する。
- ・事業委員会の委員長は、事業委員会の承認を経て、「正会員当たり原則2名の委員」に拘らず、計3名以上の者もしくは委員以外の者を出席させることができる。

6. 成立要件(定足数)

- ・事業委員会は、それぞれの事業委員会を構成する正会員の過半数の出席をもって成立とする。
- ・委員が欠席し、代理者が出席した場合は、その委員は出席したものとみなす。
- ・「委任状」の制度は用いない。
- ・事業委員会は、対面、オンライン、書面又は電磁的記録による会議方式によって開催する。

7. 議決権及び議決数

- ・正会員あたり各 1 個の議決権を有し、議事は出席した正会員の過半数をもって決する。なお可否同数のときは委員長の決するところとする。

8. プログラム担当校

- ・事業委員会において、必要に応じ、プログラムを主に担当するプログラム担当校を置くことができる。
- ・プログラム担当校は、委員長校・副委員長校と相談のうえ、プログラムの計画、実施、報告(自己評価)を行う。
- ・委員長校・副委員長校がプログラム担当校となることを妨げない。

9. 事業委員会事務局

- ・事業委員会に関する事務は、コンソ事務局と事業委員会の事務局(委員長校・副委員長校)が連携して行う。

10. 改廃

- ・この申し合わせの改廃は、企画運営委員会の議を経て、理事会で決定する。

附記

- ・この申し合わせは、2019 年4月1日から施行する。
- ・この申し合わせは、2022 年4月 1 日から改正施行する。
- ・「3.委員長校、副委員長校」の任期について、2022 年度は、新たに任命された委員長校、副委員長校を含め 1 年とする。

以 上

【2022年度 学生交流委員会 事業計画】

委員長校：神戸常盤大学

副委員長校：神戸親和女子大学

委員校：芦屋大学、関西国際大学、関西学院大学、聖和短期大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸市看護大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学、神戸常盤大学短期大学部、頌栄短期大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路大学、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学 計25校

<目的>

●大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携」の推進に向けて、以下の取組課題について事業推進を行う。

●取組課題③「大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進」

年間を通し各委員校からの提案を協議し、大小問わず、魅力的、そして学生が地元地域への理解を深め、魅力を感じることができるプログラムを予算範囲内で可能な限り実施し、学生交流を活性化させることを目的とする。

上記取組を推進する体制の構築並びに、必要なプロジェクト事業は本委員会にて実施する。

<内容>取組課題③に対する「個別取組」は、下記の通り。

1. テーマ型の学生交流プロジェクトの実施

他大学や地域・企業との連携・協働によるプログラムへの参加は、学生に大きな教育効果があるとの考えから、大学の枠を超えたテーマを設定した学生交流や活動を促進するプロジェクト全体を「WILL BEプロジェクト」の総称で位置付け、実施する（例：神戸青年会議所ほか、地元企業・団体等と連携した取組など）。主体性をもって活動に取り組む学生を支援する仕組みを作ることによって学生の成長の場とする。

2. 加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施

加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報では、様々なメディアでの告知やコンソHPへの記事掲載を計画・実施する。CMや掲載文を考えることで自主性や文章構成力を高めることを目的とする。地域で若者が活躍する姿を周知することにより、地域の活性化のための貢献活動に取り組む。併せてコンソの認知度を高める

また事業の実施体制として、ユニット制での実施を継続して実施する。上記2事業に基づく2ユニットのいずれにも全委員校が参加し、ユニットごとに企画立案から多くの加盟校が主体的に参画することにより、学生交流の実質化に繋げる。

<期待される効果>

他大学の学生との交流、社会人との交流等の場を提供することによる効果は以下の通り。

1. 学生が地域・企業との連携・協働を通じた社会貢献活動に、地元企業等と一緒に活動することで地元企業と地域の魅力を直に感じ、理解を深める効果が期待できる。

2. 参加した学生に様々な交流、広報活動を促すことにより、学生自らが他大学の学生と協働し、企画を実現することで主体性・実行力・発信力が向上する。また学生がメディア等を活用した周知に取り組むことで、自主性や文章構成力等を高めることを目的とする。併せてコンソの認知度を高める。

上記2つの取組により、コンソ加盟校の学生において本事業での経験が大学4年間の生活の充実に資する効果が期待できる。

課題③ 大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進		予算額
取組1	WILL BEプロジェクト 「テーマ型の学生交流プロジェクト」	1,100,000円
取組2	学生発信ブランディング 「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報」	850,000円

【2022年度 学生交流委員会 事業計画(課題③取組1-1)】

【③取組1】達成目標	各年参加者数50名以上
【③取組1】活動指標	参加加盟校数10校以上／年

課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進			
達成目標 【③取組1-1】	参加学生数20名以上			
課題を解決する 取組概要 【③取組1-1】	テーマ型の学生交流プロジェクトの実施 ＜WILL BE プロジェクト＞①地元企業と連携した地域活動（連携先：神戸青年会議所）			
活動指標 【③取組1-1】	イベントへの企画段階から参加し、ブース出店等を1回以上			
内容 (計画)	◆神戸市、神戸青年会議所、企業、大学が連携し、兵庫・神戸のまちが持続性ある成長を可能にするため未来を担う人材＝大学生に兵庫・神戸の魅力を体感出来る機会を提供する。 ＜内容＞兵庫県、神戸市、神戸青年会議所ほかが実行委員会を形成し、主催される「みなとまつり」、そして今年度初めて開催となる「Autumn Festival in KOBE」にそれぞれ楽天ヴィッセル神戸株式会社と株式会社マルヤナギ小倉屋と企画から協力し、ブース出店を行う。 【みなとまつり】 ＜開催日＞2022年7月16日（土）、7月17日（日） ＜募集対象＞加盟校学生 ※団体・個人問わず 【Autumn Festival in KOBE】 ＜開催日＞2022年9月23日（金・祝） ＜募集対象＞加盟校学生 ※団体・個人問わず ※どちらか一方の参加でもOKとする。 ※希望者多数の場合は、それぞれのイベントへ振分ける可能性有。			
新しい試み等 (事業計画に記載)	2022年より中長期計画Ⅱ期がスタート。全てが新しい取組（試み）となる。			
事業収支	収入(円) 1100000円	支出(円)	収支(円)	備考 取組1-1、1-2、1-3 の合計
自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	
■自己評価基準 (対到達目標)		■自己評価基準 (対継続性)		4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に 反映)				

【2022年度 学生交流委員会 事業計画(課題③取組1-2)】

【③取組1】達成目標	各年参加者数50名以上口
【③取組1】活動指標	参加加盟校数10校以上／年

課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進			
達成目標 【③取組1-2】	参加学生数30名以上			
課題を解決する 取組概要 【③取組1-2】	テーマ型の学生交流プロジェクトの実施 ＜WILL BE プロジェクト＞②地域子育て支援拠点・こどもの居場所でのボランティア等活動			
活動指標 【③取組1-2】	参加団体5団体以上。個人参加15名以上。			
内容 (計画)	◆神戸市と大学が連携し、設置している市内の「地域子育て支援拠点」や「こどもの居場所」でのボランティア活動 ＜内容＞加盟校が連携して、コンソ加盟校の学生がボランティア活動や地域貢献活動に参加しやすい場、そして学習成果を発表出来る場を提供する。自学のプログラムやフィールドを加盟校の他大学の学生にも開放し、学生間の交流を促進する。 ・2022年度：神戸市内5拠点【ときわんモトロク(中央区・元町六丁目商店街)、ときわんノエスタ・てらこやノエスタ(兵庫区・ノエビスタジアム神戸)、ときわんクニヅカ・てらこや(長田区・アスタくにづか4番館)】 ＜開催時期＞2022年6月～2023年3月(予定) ＜募集対象＞加盟校学生 ※団体・個人問わず			
新しい試み等 (事業計画に記載)	2022年より中長期計画第Ⅱ期がスタート。全てが新しい取組(試み)となる。			
事業収支	収入(円)	支出(円)	収支(円)	備考
	1100000円			取組1-1、1-2、1-3 の合計
自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	
■自己評価基準 (対到達目標)	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った		■自己評価基準 (対継続性)	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に 反映)				

【2022年度 学生交流委員会 事業計画(課題③取組1-3)】

【③取組1】達成目標	各年参加者数50名以上
【③取組1】活動指標	参加加盟校数10校以上／年

課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進			
達成目標 【③取組1-3】	参加学生数10名以上			
課題を解決する 取組概要 【③取組1-3】	テーマ型の学生交流プロジェクトの実施 〈WILL BE プロジェクト〉③「ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト」			
活動指標 【③取組1-3】	参加学生のチーム活動／月1回以上(活動期間中)			
内容 (計画)	◆「ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト」 地域の活性化に資する人材育成のためのプログラムとして、地域スポーツ振興をテーマに企画実施する。 ＜内容＞バレーボールVリーグに所属する「ヴィクトリーナ姫路」が抱える事業課題について、ゼミ単位もしくは大学の垣根を越えて構成した学生プロジェクトチームで課題解決につながる企画を立案し、ヴィクトリーナ姫路へのプレゼンテーションを経て、その企画を学生が主体となってホームゲームで実施し、その効果を検証する。 学生にとっては、大学講義等で学んだことを実践する機会となり、深みのある学びが期待できる。また、本事業を通じて、社会人として求められるスキルであるマーケティング思考やプロジェクトマネジメントを習得するきっかけとする。 ＜活動期間＞2022年8月～12月(予定) ＜募集対象＞加盟校学生			
新しい試み等 (事業計画に記載)	2022年より中長期計画第Ⅱ期がスタート。全てが新しい取組(試み)となる。			
事業収支	収入(円)	支出(円)	収支(円)	備考
	1100000円			取組1-1、1-2、1-3 の合計
自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	

■自己評価基準
(対到達目標)

4:当初計画を上回って達成
3:当初計画を達成
2:当初計画をやや下回った
1:当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

4:本プログラムは継続すべき
3:本プログラムは継続しても良い
2:本プログラムの継続には改善が必要
1:本プログラムは中止すべき

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に 反映)	
------------------------------------	--

【2022年度 学生交流委員会 事業計画(課題③取組2)】

【③取組2】達成目標	情報公開数200取組以上
【③取組2】活動指標	各加盟校からの情報提供/年1回以上、情報公開数40取組以上/年

課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進			
達成目標 【③取組2】	情報公開数200取組以上			
課題を解決する 取組概要 【③取組2】	加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施			
活動指標 【③取組2】	各加盟校からの情報提供/年1回以上、情報公開数40取組以上/年			
内容 (計画)	◆地域の活性化に関わる加盟校学生の取組事例の紹介 大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに、加盟校の学生が地域の活性化に関わる取組事例を公開する。また必要に応じて、様々なメディア等への告知を検討・計画する。 <内容> 加盟校からの情報提供をもとに、地域で若者が活躍する姿を周知することにより、加盟校による地域の活性化のための貢献活動に取り組む。			
新しい試み等 (事業計画に記載)	2022年より中長期計画第Ⅱ期がスタート。全てが新しい取組(試み)となる。			
事業収支	収入(円)	支出(円)	収支(円)	備考
	850000円			
自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	
■自己評価基準 (対到達目標) 4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った ■自己評価基準 (対継続性) 4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき				
理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に 反映)				

2022年度 学生交流委員会 事業予算

(単位:円)

		予算	各プログラム 予算				委員会 予算	
			取組1		取組2			
			WILL BEプロジェクト 「テーマ型の学生交流プロジェクト」		学生発信ブランディング 「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報」			
			内訳	予算額	内訳	予算額	内訳	予算額
内容 ＞取組課題③ に対する「個別取	会費収入	2,050,000		1,100,000		850,000		100,000
	助成事業収入	0						
	受託事業収入	0						
	プログラム収入	0						
	雑収入	0						
	戻入金	0						
	計	2,050,000	1,100,000		850,000		100,000	
支出	会議費	150,000	交流会・反省会	100,000			会議費	50,000
	旅費交通費	200,000	交通費・昼食費	150,000	交通費	50,000		
	通信運搬費	830,000	送付費	30,000	ラジオパブコメ	800,000		
	消耗品費	200,000	消耗品	200,000				
	新聞図書費	0						
	印刷製本費	200,000	募集・実績報告	200,000				
	光熱水料費	0						
	賃借料	20,000					会場代	20,000
	保険料	120,000	保険	120,000				
	謝金	0						
	租税公課	0						
	支払手数料	0						
	諸会費	200,000	出店費	200,000				
	委託費	0						
	人件費	0						
	接待交際費	0						
	支払支援金	100,000	学生企画諸経費	100,000				
	雑費	30,000					雑費	30,000
	計	2,050,000	1,100,000		850,000		100,000	

支出－収入	0
-------	---

【WILL BE プロジェクト①】

JCI神戸ユース等と連携し、兵庫・神戸にある企業とともにイベントブース出店、1DAY Co. Research等を実施。兵庫・神戸のまちの魅力、そしてそのまちにある企業の良さを改めて感じてもらい、学生自身がこのまちと一緒にずっと成長していきたいと感じてもらうことを目的とする。



スケジュール



①キックオフミーティング

JCI神戸ユース担当者と共に
今回の企画の趣旨等を説明



②1DAY Co.Research

楽天ヴィッセル神戸(株)や
(株)マルヤナギ小倉屋を見学。
7月と9月の出店に向け打合せを
開始。※5月中実施の可能性も有



③みなとまつりブース出店

16日～17日のブース運営
※協力企業：
楽天ヴィッセル神戸(株)



④Autumn Festivals出店

23日のブース運営（京町筋にて実施）
※協力企業：
(株)マルヤナギ小倉屋

【WILL BEプロジェクトテーマ型の学生交流プロジェクト案②】

資料4-3

神戸市内の「地域子育て支援拠点」でのボランティア活動

「地域子育て支援拠点」とは

- ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
- ・子育て等に関する相談、援助
- ・地域の子育て関連情報の提供
- ・子育て及び子育て支援に関する講習等

例えば…

ときわんモトロク



中央区

ときわんノエスタ
てらこやノエスタ



兵庫区

ときわんクニヅカ
てらこや



長田区

「ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト」 企画提案について

1. 事業趣旨

「ヴィクトリーナ姫路スポーツビジネスコンテスト」（以降、本事業という）は、スポーツ庁による「スポーツ経営人財の育成・活用」の方針を受けて、これからのスポーツ産業を担う若い人材の育成を行う取り組みとして企画するものである。また本事業は、SDGs（持続可能な開発目標）の「目標 4：質の高い教育をみんなに」、「目標 8：働きがいも経済成長も」につながる取り組みとする。

本事業では、バレーボール Vリーグに所属するヴィクトリーナ姫路が抱える事業課題について、ゼミ単位もしくは大学の垣根を越えて構成した学生プロジェクトチームで課題解決につながる企画を立案し、ヴィクトリーナ姫路へのプレゼンテーションを経て、その企画を学生が主体となってホームゲームで実施し、その効果を検証する。学生にとっては、大学講義等で学んだことを実践する機会となり、深みのある学びが期待できる。また、本事業を通じて、社会人として求められるスキルであるマーケティング思考やプロジェクトマネジメントを習得するきっかけとする。

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸では、本事業を、中長期計画Ⅱ期「1.地域の活性化に資する人材育成のための連携」の「③大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進」における「【取組 1】テーマ型の学生交流プロジェクトの実施」の1事業として位置付ける。他大学や地域・企業との連携・協働プログラムへの参加は学生に大きな教育効果があるとの考えから、大学の枠を超えてテーマを設定した学生交流や活動を促進するプロジェクトを実施する。また、主体性をもって活動に取り組む学生を支援する仕組みを作ることによって学生の成長の場とする。

2. 募集対象・実施期間

①運営スタッフ

- ・対象：大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の学生
- ・内容：本事業の事務局スタッフとして、運営に携わって頂く。
- ・募集期間：2022 年 5 月〇日～6 月 3 0 日
- ・活動期間：2022 年 8 月 8 日～12 月 18 日
- ・募集数：10 名

②企画参加者

- ・対象：大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の学生
- ・内容：ヴィクトリーナ姫路の事業課題に対してプロジェクトチームで企画立案と実践を行う。
- ・募集期間：2022 年 5 月〇日～6 月 3 0 日
- ・活動期間：2022 年 8 月 8 日～12 月 18 日
- ・募集数：10 名

③企画参加大学

- ・対象：大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校 大学ゼミ B
- ・内容：ヴィクトリーナ姫路の事業課題に対して大学ゼミで企画立案と実践を行う。
- ・募集期間：2022 年 5 月〇日～6 月 3 0 日
- ・活動期間：2022 年 8 月 8 日～12 月 18 日
- ・募集数：5ゼミ～10ゼミ

3. 事業共催者および事務局

大学コンソーシアムひょうご神戸、ヴィクトリーナ姫路、株式会社立成社の3者共催とし、事業を運営する。
本事業の事務局は株式会社立成社が担う。

4. 協賛

ナガセケムテックス株式会社

5. 事業内容

参加学生は、大学ゼミ単位でのプロジェクトチーム、あるいは個人参加者5～8名程度で大学混成のプロジェクトチームを組んで参加する。オリエンテーションにてヴィクトリーナ姫路が事業課題を発表し、各チームはその課題を解決する企画を検討する。企画検討期間中は、事務局で定期的にオンラインでワークショップを開催し、企画の進捗確認や、検討中に発生した疑問点などをクリアにしながらプロジェクトの進行をフォローする。プレゼン大会では各チームが検討した企画を発表し、ヴィクトリーナ姫路よりフィードバックを受け実践に向けた課題抽出を行う。オンラインワークショップなどで実践に向けた準備の確認を行いながら、ホームゲーム当日に実践を行う。実践終了後、実践の結果を踏まえて振り返りを行い、結果発表会で結果を発表する。審査員は、審査基準である新規性、効果性、継続性、プレゼンテーションの4項目（再検討予定）を審査し、審査結果を踏まえて優秀賞を決定する。

6. 事業スケジュール（予定）

5月～7月	8月	9月	10月	11月	12月
参加学生募集	①8/8 「オリエンテーション」 「課題提案・チーム編成」	②8/9～9/23 「企画立案準備・ オンラインワークショップ」 ③9/24 「企画プレゼン大会」	④10/1 「実践課題提案」 ⑤実践準備 オンラインワークショップ	⑤実践準備 オンラインワークショップ ⑥11/12 「ヴィクトリーナ姫路視察」	⑦12/3,4 「企画実践」 ⑧12/17 「結果発表会」 「表彰式」

① 8月8日(月) オリエンテーション（＊日程：予定）

ヴィクトリーナ姫路より、オリエンテーション（チーム紹介、および課題テーマの説明：集客増・FC 入会数増、MD 企画など）提案後、チーム分けを実施

→ 各大学のゼミ単位、あるいは、個人参加学生は大学混成でプロジェクトチームを編成する。

② 8月9日(火)～9月23日(金) 企画実施準備

→ オンラインワークショップ開催（進捗確認と、協賛者よりアドバイス）

③ 9月24日(土) 企画プレゼン会（ヴィクトリーナ姫路からのアドバイスおよび企画実施の承認を得る）

④ 10月1日(土) 学生チームの企画に対して実践に向けての課題提案

⑤ 10月～11月 企画実践準備 → オンラインワークショップ開催（進捗確認と、協賛者よりアドバイス）

⑥ 11月12日(土) 現場視察（ヴィクトリーナ姫路ホームゲーム）

→ 実際の現場を見て雰囲気、客層、既存の企画を理解し、実践に向かう

⑦ 12月3日(土)・4日(日) ホームゲームにて企画実践

⑧ 12月17日(土) 結果発表・表彰式

以上

募集チラシ（仮） イメージ



スポーツで兵庫・神戸を盛り上げよう！
スポーツビジネスコンテストに参加しよう！

大学コンソーシアムひょうご神戸
参加学生 大募集！

女子バレーボール
Vリーグの1部って面白い！！
君は知ってた？

兵庫の大学生による

ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト

企画 参加者

- 対象：大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の学生
- 内容：ヴィクトリーナ姫路の事業課題に対してプロジェクトチームで企画立案と実践を行う。
- 募集期間：2022年5月〇日～6月30日
- 活動期間：2022年8月8日～12月18日
- 募集数：10名

企画 参加大学

- 対象：大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校
大学ゼミβ
- 内容：ヴィクトリーナ姫路の事業課題に対して大学ゼミで企画立案と実践を行う。
- 募集期間：2022年5月〇日～6月30日
- 活動期間：2022年8月8日～12月18日
- 募集数：5ゼミ～10ゼミ

運営 スタッフ

- 対象：大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の学生
- 内容：本事業の事務局スタッフとして、運営に携わって頂く。
- 募集期間：2022年5月〇日～6月30日
- 活動期間：2022年8月8日～12月18日
- 募集数：10名

当プロジェクトでは、大学ゼミ単位でのプロジェクトチーム、あるいは個人参加者5～8名程度で大学混成のプロジェクトチームを組んで参加します。

オリエンテーションにてヴィクトリーナ姫路が事業課題を発表し、各チームはその課題を解決する企画を検討します。企画検討期間の後、ヴィクトリーナ姫路へのプレゼンテーションを経て、その企画を学生が主体となってホームゲームで実践し、その効果を検証します。



実践終了後、実践の結果を踏まえて振り返りを行い、結果発表会で結果が発表されます。

審査員は、審査基準である新規性、効果性、継続性、プレゼンテーションの4項目（再検討予定）を審査し、審査結果を踏まえて優秀賞が決定されます。



大学コンソーシアムひょうご神戸とは・・・

「大学コンソーシアムひょうご神戸」は、兵庫県及び神戸市の特性を活かしながら、大学等の高等教育機関が地域にとって不可欠な存在となることを目指して、教育・研究の充実と地域の行政や産業界との連携を図ります。スポーツビジネスコンテストを通じて、地域社会の教育・文化の向上・発展に貢献し、あわせて教育環境の向上に寄与したいと考えております。

学習スケジュール（予定）

実施日	内容	会場
8/8（月）	オリエンテーション	会場未定
8/9（火）～9/23（金）	企画実施準備	オンライン
9/24（土）	企画プレゼン大会	会場未定
10/1（土）	学生チームの企画に対して実践に向けての課題提案	会場未定
10月～11月	企画実践準備	オンライン
11/12（土）	現場視察（ヴィクトリーナ姫路ホームゲーム）	会場未定
12/3（土）・4（日）	ホームゲームにて企画実践	会場未定
12/17（土）	結果発表・表彰式	会場未定

※開催場所は変更する可能性があります。

担当コーディネーター

上原 光徳氏（株式会社 立成社 代表取締役）

<ヴィクトリーナ姫路とは？>

ヴィクトリーナ姫路は、日本のプロバレーボールチーム。

ホームタウンは兵庫県姫路市。V.LEAGUE DIVISION1（V1リーグ）所属。

チーム名は「Victory（勝利）」を女性らしく変化させた造語で、常に勝利を目指す女性たちの姿に由来しています。

4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も

